

札幌市 サイクルシェアリングサービス

札幌みんなのサイクル **ポロクル(Porocle)**

- ・民間で運営するサイクルシェアリングサービス。
- ・市民と一緒に考えながら創り上げる、持続可能なコミュニティサイクルを展開。
- ・“安全・安心・元気”をテーマに、人とまちとモビリティの良好な環境の創出を目指す。

【実施概要】

実施期間	期間	4/15(月)～11/15(金)計215日間			
	運営時間	7:30～21:00			
施設規模	自転車台数	300台			
	ポート数	46箇所			
料金体系	登録料:525円、カード代:1050円(送料:420円) ・利用料金:				
		<table border="1"> <tr> <td>1ヶ月</td> <td>基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>利用:105円/30分</td> </tr> </table>	1ヶ月	基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分	1回
1ヶ月	基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分				
1回	利用:105円/30分				
初期登録	登録方法	PCおよびモバイルWeb登録(ポートでのおサイフケータイ登録可)、登録所登録※会員情報・クレジットカード入力			
	登録場所	Web/ポート/登録所等			
管理	管理方法	管理サーバーによる遠隔集中管理 ※データ自動送信			
	貸出・返却の管理	セルフサービス(ICカード認証)/サーバーによる自転車管理			
	個人認証媒体	専用ICカード/おサイフケータイ/SAPICA(交通カード)			
	集中管理	自動データ送信			
	料金收受	クレジットカード/請求書(法人)			
	機器	自転車車両	・オリジナルシティサイクル(南雲勝志氏デザイン、武田産業(株)製作) ・26インチ、3段変速、自動点灯ライト		
	ラック	平置き/電磁ロック			
	その他	無線通信/ソーラーパネル			

【利用実績】

登録者数	一般7,372件、法人664件(236社)、観光915件
延べ利用回数	127,780回
1日平均利用回数	594回/日(最大1,013回/日)
回転率	2.2回/台・日(最大3.7回/台)
平均利用時間	16分/回

【目的】

- ターゲット:札幌市民(通勤・私事)、札幌企業(主に業務)、観光客。
- 実施目的:民間が担う新たな公共的な交通サービスとして事業展開。“安全・安心・元気”をテーマに、人とまちとモビリティの良好な環境を創出するまちづくりの一端を担う。また、市民と一緒に考えて考えながら、まちが抱える諸問題を解決していく。

【評価】

- 会員数および利用回数は順調に伸びており、札幌の新しい足として活用されてきている。
- 札幌市区域内に災害等が発生した又は発生する恐れがある場合の応急・復旧活動を支援する防災協定を札幌市と締結した。
- NPO法人 ezorockとの協働運営を通じて、次世代を担う若者と共感しながら“ポロクル”の諸問題解決に取り組むことができた。



車道に面して設置したポート



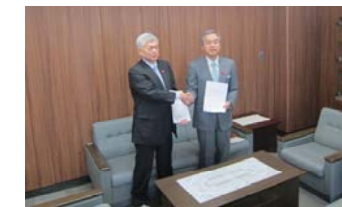
自転車貸出の様子



運営の様子



スタッフによる交通安全宣言



札幌市と防災協定を締結



自転車利用環境を考えるイベントの開催

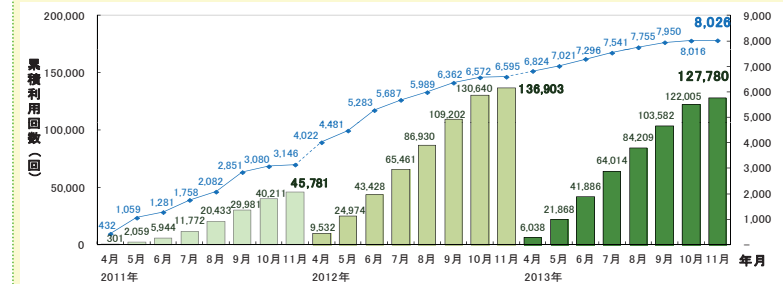


地域の情報雑誌・国土交通白書への掲載



アスリートとの連携によるマナー啓発

■登録者と利用回数の推移



■ポロクルユーザーによる自転車利用の意識・行動の変化

路上駐輪をしなくなった	48%
マイ自転車の利用が減少	36%
マイ自転車の保有をやめた	3%

※ポロクルユーザーに対するアンケート調査結果(2011)

■ポロクルユーザーによる公共交通・自動車利用の変化

公共交通の利用が増加	27%
自動車の利用が減少	23%

※ポロクルユーザーに対するアンケート調査結果(2011)

■歩道を走行しない人の割合

一般自転車ユーザー	11%
「ポロクル」ユーザー	40%

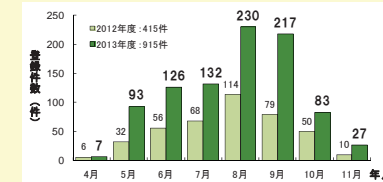
※一般自転車ユーザー・ポロクルユーザーに対するアンケート調査結果(2011)

■まちのにぎわいづくり

都心へ行く機会が増えた(一般会員)	36%
都心の周遊に役立つ観光利用	94%

※ポロクルユーザーに対するアンケート調査結果(2011)

■観光向けプラン登録状況



連絡先:011-801-1523 担当:澤 充隆・渡邊 弥生
運営事業者:株式会社ドーンモビリティデザイン



DATE BIKE(ダテバイク)



- スマートな事業展開
- 高いコストパフォーマンスとALL宮城でのバックアップ
- 地方基礎自治体としての新たな都市経営
- ICT技術との融合

【事業概要】

実施期間	期間	2013/3/16(sat)~
	運営時間	7:00~22:00
施設規模	自転車台数	100台
	ポート数	16箇所

【事業の目的】

- ターゲット:観光/業務/私事/通勤等
- 事業の目的:H22社会実験の反省を踏まえ、持続・拡大可能な都市経営モデルとして、都市の装置としてサービスを展開

【利用実績】

登録者数	5,300名
述べ利用回数	36,000回
1日平均利用回数	133回/日
回転率	1.3回/台・日
平均利用時間	25分/回

プラン	料金		決済方法	利用時間
	基本料金	延長料金		
お昼抜けが多い方 1回 ^{※1} (回称:基本プラン)	基本料:0円/月 最初の60分:100円/回 利用ごとに60分毎100円	100円/30分毎 <small>1回の利用が基本料金でご利用できる時間を超過した場合は、延長となります。</small>	クレジットカード	7:00~22:00
月額 ^{※1,※2}	基本料:1,500円/月 最初の30分:0円/回 <small>1日、複数回利用しても500円以内</small>	<small>※1 当日の夜間利用を超過した場合は、延長料金がかかります。 ※2 月間利用超過料金は500円以内</small>		
気軽に使いたい方 1日バス ^{※2}	1,000円/日	なし	現金	8:00~22:00
学生バス ^{※2,※3}	800円/日			
午後バス ^{※2}	500円/14時~			14:00~22:00

初期登録	登録方法	Web
	登録場所	Web, サービスステーション(窓口)
管理	管理方法	遠隔管理
	貸出・返却の管理, 集中管理	ICTマネジメント
	個人認証媒体	Web(ID、パスワード)
	料金収受	クレジットカード, 現金(窓口)
機器	自転車車両	電動アシスト/ヤマハパス/20型/3段変速
	ラック	フリースペース/既存駐輪場
	その他	機器フリー

【外部評価】

市民の半数がDATE BIKEを認知
料金も適切であると回答
(第三者機関による、事業開始3か月後 市民1,000人 (20~60代) アンケート調査結果)

担当:仙台市交通政策課(担当 岩淵)
連絡先:022-214-8303
shin_iwabuchi@city.sendai.jp
パートナー:NTTドコモ:0120-260-397



Port

Bike

臨時ポート コンベンションとの連携
日本モビリティ マネジメント会議 in 仙台

楽天野球団とのタイアップ CSシリーズまで放映

-アジャアに向けて- CEATEC JAPAN 2013

-小売り業者と共に- 某CVS店頭での頒布

-地域の魅力発掘- ダテバイクGirls tour

Others



高崎市

高崎まちなかコミュニティサイクル(高チャリ)

- 中心市街地の活性化が最大の目的
- 都市再生特別措置法の改正に基づき、道路占用許可の特例制度を活用
- 無料で、しかも登録不要という使い勝手の良さを重視したシステム
- 地元の住民、学生、事業者みんなで自転車を管理する体制



【事業概要】

(平成26年2月1日現在)

実施期間	期間	平成25年4月27日(土)開始
	運営時間	9:00 ~ 22:00
施設規模	自転車台数	150台 (2/1に50台増車)
	ポート数	15箇所 (2/1に3箇所増設)
料金体系		無料 (100円のデポジット方式)
初期登録	登録方法	登録不要
	登録場所	無し
管理	管理方法	ポート: 無人 インフォメーションセンター: 自転車の整理・回収、ポートの開閉等
	貸出・返却の管理	ラックと自転車を連結する「コインキー」で管理
	集中管理	—
	個人認証媒体	—
	料金収受	ハンドルに設置した「コインキー」
機器	自転車車両	・新車(マルキン レイニーホーム) ・26インチ、変速無し ・企業の広告協賛により購入
	ラック	・高チャリ専用ラック ・若手製造業者のチームが製作
	その他	案内パネルに外国語表記等

【事業目的】

- ・想定したターゲット:
買物/観光/業務/私事/等
- ・実施の目的や背景等:
地域住民をはじめ、JR高崎駅の利用者や郊外から車でまちなかを訪れる人々の中心市街地での「新たな足」として、また、新たな中心市街地の回遊性向上と賑わい創出を図るため

【事業の推進体制】

事業・運営主体: 高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会

構成団体	主な役割
高崎商工会議所	事務局、協賛企業の取りまとめ 等
高崎市	事業の企画・調整、ラックの設置 等
自転車組合	自転車の定期点検、パンク修理 等
JR、百貨店、商店街	ラック設置の協力、清掃 等

【事業の評価】

- 事業の実績
- ・数多くの来街者に利用され、場所によっては戻るのを待つ人がいるほどの利用状況
- ・学生ボランティアが積極的に関わって周知活動を行ったことで、広く市民に周知された
- ・市民自ら回収作業を行うなど、地域で見守る体制も始まった
- 今後の課題
- ・使い勝手の良さを追求しながら、郊外への乗り出し、放置、長時間利用等をなくすための対策

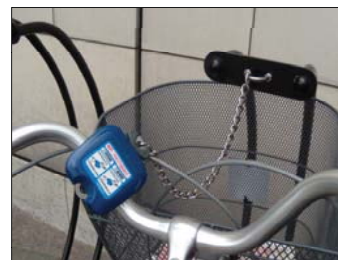
担当: 高崎市商工観光部産業政策課 高橋、松田
連絡先: 027-321-1255(直通)



■ 高チャリ専用ラック



■ 高チャリ



■ コインキー



■ 高チャリ回収用トラック



■ 学生ボランティアの活動



■ シール貼りの様子



さいたま市 名称(さいたま市コミュニティサイクル)

- 一時利用だけではなく、定期利用※1、ビジター利用※2を新たに導入した。
 - 鉄道、バスとの連携がシームレスにできるようSuica、PASMOを導入した。
 - ホームページを作成し、リアルタイムで自転車の在庫状況がわかるようにした。
- ※1 1か月間借り放題のプラン(1回に続けて借りられる最大借用時間は120時間)、※2 当日中のみ自由に利用可能なプラン

【概要】

実施期間	期間	平成25年5/3(祝)~平成35年3/31(金) 計10年間
	運営時間	24時間(大宮駅西口(窓口)のみ AM4:00からAM1:45まで)
施設規模	自転車台数	200台
	ポート数	20箇所
料金体系		登録料なし 利用料金 定期利用 月額2,500円 一時利用 最初の30分100円以降1時間ごと100円 ビジター利用 500円(当日のみ)
初期登録	登録方法	窓口またはWEB+精算機
	登録場所	窓口または精算機
管理	管理方法	遠隔管理
	貸出・返却の管理	スタッフが携帯電話で登録/台帳/ICカード、精算機等
	集中管理	WEB上でリアルタイムに管理
	個人認証媒体	ICカード(Suica,PASMO,モバイルSuica)
	料金收受	現金/交通系ICカード、クレジットカード
機器	自転車車両	・小径車・新車(パナソニック) ・20インチ、内装3段ギア
	ラック	平置き/電磁ロック
	その他	ターミナル(精算機)等

【目的】

- 想定したターゲット:観光/業務/私事/通勤等
- 実施の目的や背景等:短距離移動の利便性向上や、都市内の回遊性向上、不法駐輪の減少、都心地区の連携強化に資することを目的として、市民をはじめ、企業活動、来訪者等への都市の利便性向上事業として導入した。

【利用実績】

登録者数	4,103名(12月末まで)
延べ利用回数	31,442回(12月末まで)
1日平均利用回数	183回/日(12月平均)
回転率	0.9回/台・日(12月平均)

【評価】

- ポートごとに回転率にばらつきがあるため、回転率の均衡に向けた広報活動が必要と考える。
- 広告収入など、他事業において採算性を確保することができるよう運営面を強化することが重要と考えている。

担当 :さいたま市都市交通課 長泉
連絡先:048-829-1053
運営事業者:JR東日本企画、中央復建コンサルタンツ、IHIエスクューブ



与野本町駅サイクルポート



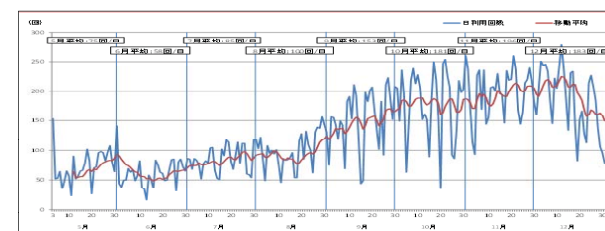
利用自転車



登録に必要な物



ホームページ上の貸出状況





川越市まちなかレンタサイクル社会実験

- 中心市街地における新しい交通手段の導入
公共交通の機能を補完し、中心市街地における移動手段としての役割を担う
- 中心市街地の活性化や観光の振興
まちなかの回遊性・中心市街地の活性化・観光の振興に寄与する
- 平成25年12月1日から「川越市自転車シェアリング」として本格実施を開始

【実験の実施概要】

実施期間	平成24年10月27日～平成25年3月15日 (140日間)	
利用時間	24時間 (運営事務局での場合、9時～17時)	
施設規模	自転車台数	80台(実稼働数60台)
	ポート数	8か所
料金体系	《登録料金》	1日利用:200円 1か月利用:1,000円/月 5回利用:300円
	《利用料金》	30分まで無料 以降30分ごとに200円
初期登録	登録方法	端末操作または申込書記入
	登録場所	サイクルポートまたは運営事務局
管理	管理方法	無人システムによる一括管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカードまたはパスワードを利用 返却:ラックに返却 ※満車時返却あり
	個人認証媒体	ICカードまたはパスワード
	料金収受	クレジット決済または現金
機器	自転車車両	20インチ小径車、内装3段変速
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	ドレスガード 付帯事業を実施(広告を掲載)

【利用実績】

登録者数	2,381名 ※法人・レンタル除く
延べ利用回数	7,787回
1日平均利用回数	55.6回/日
回転率	0.93回/台・日
平均利用時間	24分

【実験の評価】

- 自動車から自転車への転換
代替の移動手段として、17%(市内在住者36.6%)が「自転車」を選択
- まちなかのにぎわいの創出に寄与
 - 1、平日より休日の利用が多い
 - 2、登録者の90%が1日利用
(1日利用の81%が観光・まち巡り)
 - 3、「立ち寄る店や目的が増える」等、利用者の声
- 市街地における交通手段・回遊性の向上
 - 1、駅を拠点に市街地のポート間移動が多い
 - 2、各ポートで一定回数以上の利用

【課題】

- PR不足(利用方法のわかりにくさ等)
- 自動車走行空間の整備
- ポートの増設



【利用状況】

- 利用の少ない冬季に実施し、一定の需要があった
- 最多利用回数は11/24(土)の187回(1日1台あたり約3回)



ドレスガード(付帯事業)



専用ICカード



時の鐘と自転車

実施 : 株式会社まちづくり川越 ・ 川越市(TEL:049-224-5519)
運営 : 株式会社ペダル



江東区

江東区臨海部コミュニティサイクル実証実験

- 東京メトロ有楽町線、りんかい線、ゆりかもめの駅前などにステーションを設置し交通ネットワークを充実させる。
- 臨海部の大規模な開発により増加する居住者・就業者・来訪者の回遊性を向上させ賑わいの創出と滞在時間の延長により地域の活性化を促す。

【実験概要】

実施期間	期 間	平成 24 年 11 月 21 日～平成 27 年 3 月 31 日 ※当初は 25 年 11 月末までの予定だったが延長中														
	運 営 時 間	07:00～22:00 ※26 年 3 月末まで 24 時間運営試行中														
施設規模	自転車台数	300 台														
	ポート数	21 箇所														
料金体系	<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラン名</th> <th>利用料金</th> <th>支払方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1 回会員</td> <td>基本料金 なし</td> <td rowspan="2">クレジット カード</td> </tr> <tr> <td>最初の 60 分 100 円/回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">月額会員</td> <td>基本料金 1000 円/月</td> <td rowspan="2">Pasma/Suica 現金</td> </tr> <tr> <td>最初の 60 分 0 円/回</td> </tr> <tr> <td>1 日パス</td> <td>500 円 (1 日分)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		プラン名	利用料金	支払方法	1 回会員	基本料金 なし	クレジット カード	最初の 60 分 100 円/回	月額会員	基本料金 1000 円/月	Pasma/Suica 現金	最初の 60 分 0 円/回	1 日パス	500 円 (1 日分)	
	プラン名	利用料金	支払方法													
	1 回会員	基本料金 なし	クレジット カード													
		最初の 60 分 100 円/回														
月額会員	基本料金 1000 円/月	Pasma/Suica 現金														
	最初の 60 分 0 円/回															
1 日パス	500 円 (1 日分)															
※1 回会員・月額会員は、1 回の利用が 60 分を超過した場合、100 円/30 分の延長料金がかかります。																
初期登録	登録方法	1) 1 回会員・月額会員 Web と登録機で登録/有人窓口で登録 2) 1 日パス 登録機で登録/有人窓口で登録														
	登録場所	Web/登録機、有人窓口														
管理	管理方法	遠隔管理、作業員による巡回管理														
	貸出返却の管理	自転車付帯の IC チップによる無人管理														
	集中管理	管理本部に自動送信														
	個人認証媒体	携帯電話/スマートフォン、交通系 IC カード、専用 IC カード														
機器	料金收受	クレジットカード(1 回会員・月額会員)、Pasma/Suica(1 日パス)、現金(1 日パス)														
	自転車車両	ブリジストンサイクル「ベガス」 (20 インチ、3 段変速)														
	ラック	平置き/電磁ロック														
その他	歩道設置のステーションに安全対策を実施															

【実験の目的】

ターゲット

○ 観光/業務/私事/通勤・通学 等

実施の背景

- 上位計画における位置づけ
 - ・ 江東区都市計画マスタープラン
 - ・ 豊洲グリーン・エコアイランド構想
- 臨海部の持つポテンシャル
 - ・ 大規模開発による居住者、来訪者、就業者の増加
- 臨海部のまちづくりの課題
 - ・ 施設間の移動利便性
 - ・ 交通ネットワークの不足

【利用実績】

2013. 12. 31 時点

登録者数	21, 278 名(うち 1 日パス 14, 847 名)
延べ利用回数	146, 419 回
1 日平均利用回数	360. 6 回/日
回転率	1. 60 回/台・日
平均利用時間	43 分/回

【実験の評価】

評価

- 順調に利用は伸びている。
- 利用者アンケートでも、9 割以上が「満足」「やや満足」と回答した上、約 98%が本格導入時の利用意向を示している。

今後の予定

- 導入効果や事業課題を把握し、本格事業化の可能性を検証する。
- 自転車の増車及びステーションの拡大を検討中。

担 当 : 江東区都市整備部まちづくり推進課
連 絡 先 : 03-3647-9714
運営事業者 : 株式会社 N T T ドコモ

ステーションマップ

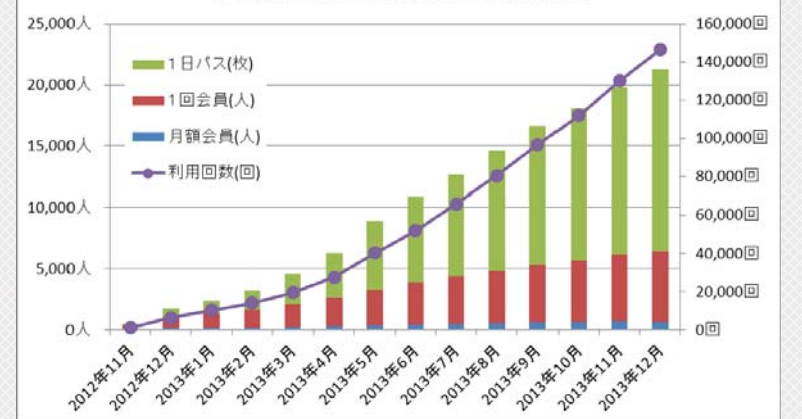


ステーション



自転車

各月末時点の利用者数及び利用回数【累計】





横浜市 ベイベイク

- 実施主体を市、運営主体をNTTドコモとする協働による実施
- 本格実施を目指した3年間の社会実験
- 役割分担 市:ポート土地の確保、広報、効果検証 など
ドコモ:施設整備、運営 など

【実施概要】

実施期間	期間	H23. 4. 25～H26. 3. 31	
期間	運営時間	6:00～22:00	
施設規模	自転車台数	300台	
	ポート数	34箇所	
料金体系		登録料:無料 利用料金(基本料+利用料)	
	基本料	利用料	予約
月額会員 プレミアム	1,575円/月	最初の60分 0円 超過30分毎 105円	ご利用の30分前 から予約可
月額会員	1,050円/月		—
1日会員	525円/日		—
1回利用	105円/回		—
初期登録	登録方法	携帯電話、パソコンによる登録	
	登録場所	有人カウンター、ポート(携帯電話利用)、WEBページ	
管理	管理方法	遠隔管理	
	貸出・返却の管理	ポートにおサイフケータイまたはICカードをかざす	
	集中管理	ポートから自動でデータ送信	
	個人認証媒体	おサイフケータイまたは専用ICカード・交通系ICカード	
	料金收受	クレジットカード	
機器	自転車車両	新車(ブリヂストン ベガス) 小径車20インチ、内装3段式変速	
	ラック	電磁ロック	

【利用実績】(H25.12.31現在)

登録者数	17,811名
延べ利用回数	238,322回
1日平均利用回数	約400回/日 (H25.4～12)
回転率	約1.3回/台・日 (H25.4～12)

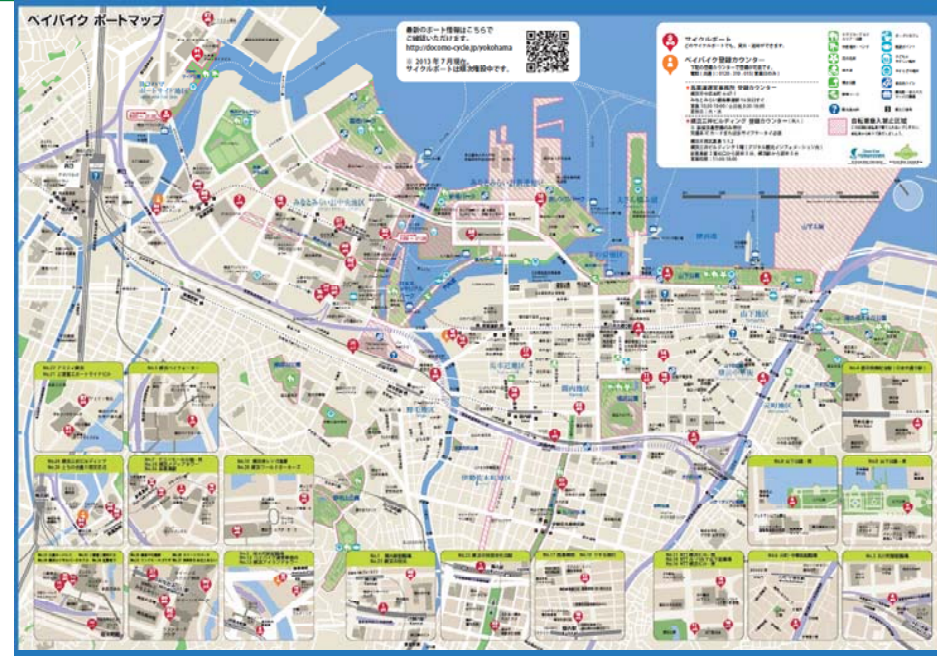
【目的】

- 想定したターゲット:観光/買物/業務/通勤等
- 横浜都心部での回遊性の向上、観光振興を目指すとともに、低炭素化に向けた取組として実施。
- 採算性を確保し、本格実施を目指す。

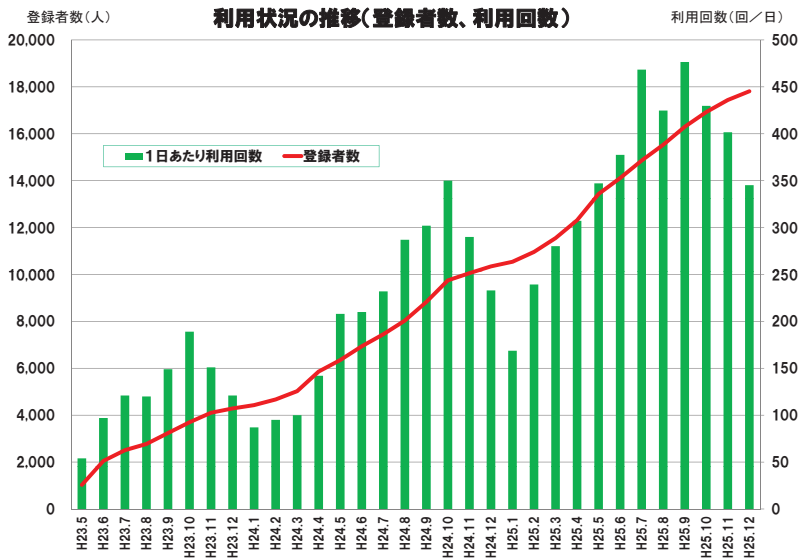
【評価】

- 利用回数は、平日・休日とも同程度。
- 利用者へのアンケート調査結果から、平日は通勤・業務目的、休日は観光・買物目的で利用されている。
- 社会実験の成果をふまえ、H26年4月から本格実施に移行。

担当 : 横浜市都市整備局都市交通課 石原、三川
連絡先: 045-671-3512
運営事業者: 株式会社NTTドコモ



サイクルポート・自転車 サイクルポート(内側) 専用ICカード



- 日本で最初のコミュニティサイクル本格実施
- 屋外広告を活用して収支を健全化、富山市には運営費用の負担無し
- 市政情報パネルを設置(歩道側:地図or市政情報、車道側:広告)
- 全15箇所のポートは全て道路上に設置(1箇所公園内)

【実施概要】

実施期間	期間	2010年3月20日～ 1,382日(2013年12月末時点)
	運営時間	24時間365日
施設規模	自転車台数	150台(135台)
	ポート数	15箇所
料金体系		登録料:無料 基本料:定期パス500円/月 パスカ 700円/月 メンバーカード 7日パス1,000円 2日パス500円 1日パス300円 利用料:最初の30分無料 次の30分200円 以降30分毎に500円
初期登録	登録方法	必要情報記入後、会員カード及びID番号を発行
	登録場所	Web、郵送、窓口、ホテル窓口
管理	管理方法	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	貸出・返却の管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	集中管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	個人認証媒体	ICカード、ID番号
機器	料金收受	クレジットカード、口座振替、現金
	自転車車両	・自社設計開発、専用自転車 ・26インチ、3段変速、前後LEDライト、鍵付き
	ラック	埋設基礎式、カードリーダー組込
	その他	ターミナル

【目的】

- 想定したターゲット
市内中心部に来訪する全ての方が対象。
- 実施の目的や背景
富山市は環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトまちづくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが必要な焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出量の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としています。

【利用実績】 2013年12月末時点

登録者数	4,112名
延べ利用回数	163,946回
1日平均利用回数	124回/日(通年) 143回/日(3月～11月)
回転率	0.92回/台・日
平均利用時間	約9分/回

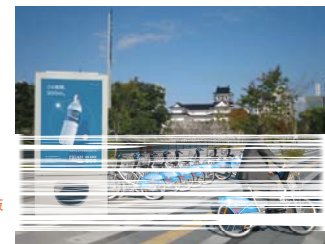
【評価】

- 利用回数が毎年増加
 - 2010年:31,306回
 - 2011年:40,224回(前年比28%増↑)
 - 2012年:44,926回(前年比12%増↑)
 - 2013年:45,368回(前年比10%増↑)
- ・自動車(タクシー含む)からの転換が10%(CO2排出削減に貢献)
- ・概ね80%の利用者がサービスに満足
- 今後の課題、展開予定等
 - ステーションの増設
 - サービスクオリティの維持

担当:富山市環境政策課
連絡先:076 443 2051
運営事業者:シクロシティ株式会社
連絡先:03 5217 2510



ケーブル類は全てフレームのなか



ステーションと屋外広告(10丸の内ステーション)



台数調整専用トレラー



市政情報パネル(歩道:市政情報、車道:広告)



メンバーカード



パスカ(公共交通ICカード)



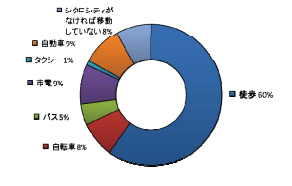
定期的な清掃とメンテナンス



ロックとメンバーカード



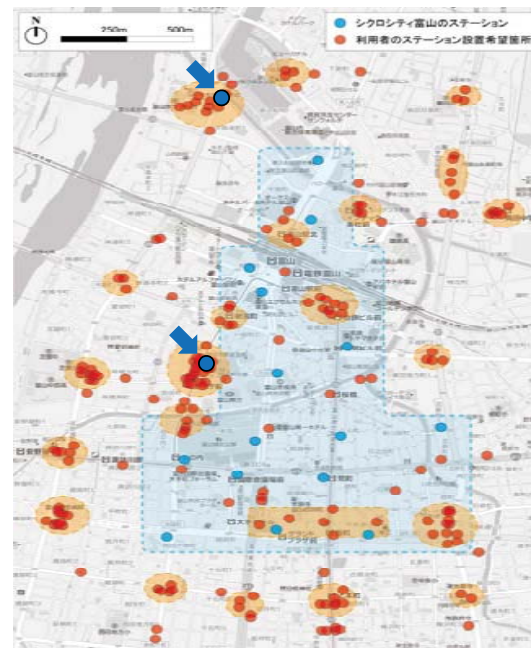
スマートフォン用アプリ



「シクロシティを利用する」以前の移動手段(注2)(N=308)

ステーションの増設(2014年3月末予定)

利用者から最も設置要望の多かった2箇所にステーションを増設する





金沢市 (公共レンタサイクル「まちなり」)

- 民間事業者(株)日本海コンサルタントが運営、市は機器類の無償貸与と運営負担金の支出
- クレジットカードを使用し、初めてでもポートにてわずか1分で利用可能
- ホテル等の有人窓口、まちなりサポーターなど、市民や民間企業との協働で実施

【実施概要】

実施期間	期間	平成24年3月24日(土)開始
	運営時間	貸出 7:30~22:30 返却 24時間可
施設規模	自転車台数	155台
	ポート数	19箇所+事務局
料金体系		1日基本料金 200円 1月基本料金 1,000円 1年基本料金 9,000円 追加料金 30分超ごとに200円
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカード等 返却:ラックに返却
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード又はパスワード
	料金收受	無人:クレジットカード 有人:現金
機器	自転車車両	・小径車、新車 ・20インチ、内装3段変速 ・自動ライト点灯、前カゴ
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	路上端末機 (利用手続、利用履歴確認、 精算書発行、ポート満空等)

【目的等】

- (目的)・来街者の2次交通の充実
・市民の足としての都市内交通の充実
- (背景)・平成22年度に社会実験を実施
・平成26年度に北陸新幹線が開業予定

【利用実績】

	H24.3.24~H25.12.31
購入者数	40,233人・件 1日利用者: 38,789人 1月利用者: 1,198人 1年利用者: 102人 法人会員: 144件
延べ利用回数	164,573回 1日利用者: 127,458回 1月利用者: 23,361回 1年利用者: 8,548回 法人会員: 5,206回
1日平均利用回数	254回/日
回転率	1.64回/台・日
平均利用時間	18分/回

【H25実施事項】

- スマートフォン用サイトの内容充実
(おすすめスポット等の紹介、外国語対応等)
- 各ポートの駐輪機器台数の調整
- 各種利用促進事業の実施



まちなり回遊ツアー 文学編



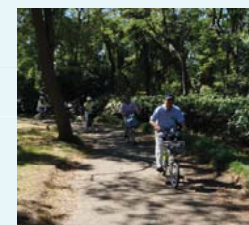
商店街との連携(臨時ポートの設置)



親子利用キャンペーン



湯涌温泉コラボ企画



内灘快走ツアー(公共交通連携事業)



お花見マップ



担当 : 金沢市歩ける環境推進課 小村、前野
連絡先: 076-220-2371
運営事業者: (株)日本海コンサルタント 片岸、井上

- 登録不要の無人管理システムのコミュニティサイクル
- 駐輪場事業とコミュニティサイクル事業の連携した一体管理体制構築
- 民間設置・民間運営

【実験概要】

実施期間	期間	平成22年4月30日(金)～ 平成25年12月31日(火)現在 計1342日間 継続営業中
	運営時間	貸出8:00～20:00 返却24時間可能 ※拠点による
施設規模	自転車台数	100台(実稼働70台程度)
	ポート数	4箇所
料金体系		初めの2時間まで500円、 その後24時間まで1,000円、 以降24時間毎1,000円 継続3日間利用可
初期登録	登録方法	(基本登録不要)
	登録場所	各拠点
管理	管理方法	遠隔管理/巡回
	貸出・返却の管理	システム (認証媒体と車両RFID)
	集中管理	システム・コールセンター 24時間稼働
	個人認証媒体	PiTaPa/クレジットカード等
機器	料金收受	PiTaPa/クレジットカード等
	自転車車両	・シティサイクル100台 ・新車(パナソニック) ・26インチ、内装式3段変速
	ラック	電磁ロック式
	その他	英文・中文対応 デジタルサイネージ併設

【実験の目的】

- 想定したターゲット:
観光/業務/私事/通勤等 様々な利用者
- 実施の目的や背景等:
駐輪場運営のノウハウの活用。
まちの魅力づくりの模索。
継続的運営による事業モデルの模索。

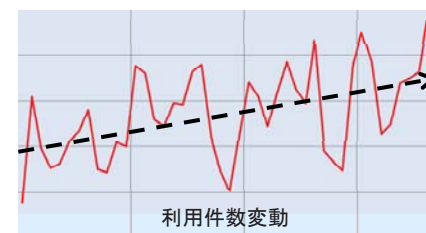
【利用実績】

登録者数	登録不要
延べ利用回数	-----
1日平均利用回数	16.9回/日
回転率	0.24回/台・日
平均利用時間	525分/回

【実験の評価・課題・展開予定】

- ・約70%が観光目的での利用
 - ・約74%が単拠点利用
 - ・約4年経過による車両の老朽化
 - ・利用者は年々増加傾向
- **ターゲット拡大・利便性の向上の検討**
- ・駐輪場を活かした拠点拡大
 - ・有人対応システム(スマホ)を活用した拠点
 - ・クーポン対応による活性化・企業連携
 - ・法人利用の対応
- **安定的なサービスの提供 → 利用拡大**

担当 : 株式会社アーキエムズ (中嶋・宮野)
連絡先: 075-241-2227
運営事業者: 株式会社アーキエムズ



季節変動はあるものの
利用件数については増加傾向。



岡山市 コミュニティサイクル「ももちやり」

- 市と事業者で協定を結び、市が設置した機器等を無償提供することにより、事業者が
- ポートで簡単に登録可能(1~2分。携帯電話とICカードのみ必要。)
- 現金、交通系ICカード、クレジットカード、口座振替で支払い可能。

【実施概要】

実施期間	期間	平成25年7月27日(土)開始 ※8月31日までは基本料金無料
	運営時間	24時間(1箇所ポート除く)
施設規模	自転車台数	140台
	ポート数	17箇所
料金体系	料金体系	○利用料金=基本料金+追加料金 ・基本料金 右図【料金プラン】のとおり ・追加料金:各プランとも1回の利用が60分を超えた場合、30分ごと100円追加(24時間上限1,000円)
	管理方法	無人/遠隔管理
管理	貸出・返却の管理	貸出:ICカードをラックにタッチ 返却:ラックに返却
	集中管理	自動データ送信
	個人認証媒体	ICカード(Felica対応の交通系、流通系ICカード/おさいふケータイ等)
	料金收受	現金/交通系ICカード(ICOCA,ICOCAと相互利用可能なもの)/クレジットカード
機器	自転車車両	・小径車/新車(パナソニック) ・20インチ、3段変速
	ラック	個別電磁ロック式
	路上端末機	会員登録、料金支払、料金プラン変更

担当：岡山市街路交通課自転車先進都市推進室 矢野・玉木
連絡先：086-803-1375
運営事業者：中央復建コンサルタンツ(株)

【料金プラン】

	料金プラン	基本料金
個人	1回利用	100円
	1日利用	200円
	回数券(5回券)	300円
	1ヶ月利用	1,000円
	6ヶ月利用	5,000円
	1年利用	9,000円
法人	1年利用	10,000円

【導入の意義】

- ▶公共交通利用への転換を促進するツール
- ▶賑わいのある都心部を創出するツール
- ▶街を彩り、本市のイメージアップに資するツール

【利用実績(H25.9.1~H25.12.31)】

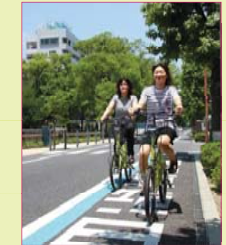
登録者数	7,292名 (H25.7.27~H25.12.31)
延べ利用回数	41,900回
1日平均利用回数	343.44回/日
回転率	2.45回/台・日
平均利用時間	28分/回

【今後の課題】

- ▶ポートの拡充
- ▶地元商店街等との連携
- ▶観光客への周知
- ▶アンケート等の実施による利用実態の把握



国道上ポート(岡山中央郵便局前)



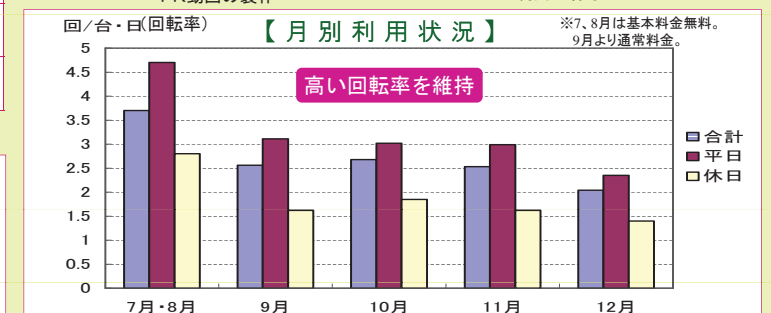
「ももちやり」で自転車レーン walking



PR動画の製作



利用の様子





北九州市【民間事業者による本格実施】 愛称 『シティバイク』

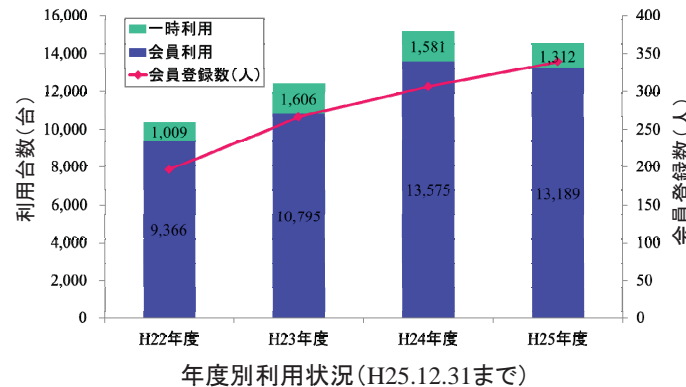
- 過度なマイカー利用から、公共交通や自転車を積極的に利用するライフスタイルへの意識と行動の変革を促すもの
- 利用対象者は、自動車を利用して短距離移動するビジネス客、マイカーで市街地等を移動する通勤客・買い物客、観光客など

【実施概要】

事業主体	NPO法人 タウンモバイルネットワーク北九州	
供用開始日	平成22年3月27日～	
運営時間	24時間	
施設規模	自転車台数	146台(全て電動アシスト自転車)
	ステーション数	13箇所
料金体系	・会員利用 月額基本料:525円 利用料:105円/時、1日最大525円 ・一時利用 500円/日	
初期登録	登録方法	Web登録又は申込書記入
	カード発行場所	有人ステーション3箇所
管理	管理方法	無人管理 (10時～17時は管理人によるステーションの巡回を実施)
	貸出・返却の管理	無人管理
	個人認証媒体	会員カード(磁気タイプ)
	料金収受	会員:クレジットカード 一時利用:現金
機器	自転車車両	電動アシスト自転車(パナソニック) 20インチ、3段変則
	ラック	平置き駐輪ラック
	その他	無人対応用キーボックス

【利用実績(H25年12月31日現在)】

■登録者数	
法人会員	18法人
個人会員	339名
■利用台数	
会員利用	46,925台
一時利用	5,508台
■1日平均利用回数	53台/日(H25年度)



【現在の取り組み】

- ・利便性向上のため、小倉都心部でのサイクルステーションの増設を行っている。
- ・利用促進を図るため、新たな会員の獲得に向けたPRに協働で取り組み、料金プランの改定もお願いしている。



サイクルステーション
(小倉北区役所内)



体験試乗会風景

事業主体: NPO法人タウンモバイルネットワーク北九州
 事業支援: 北九州市建築都市局都市交通政策課
 連絡先: 093-582-2518(都市交通政策課)